

2022年度からの ONSA の事業のご紹介

事業計画は概ね例年通りですが、より魅力あるものにする事で、会員の獲得に務めます。

1. 放射線に関する知識普及と会員への情報提供

一般市民への放射線の知識普及活動「みんなのくらしと放射線展」を実行委員会に参加して開催します。

放射線・原子力分野での放射線科学研究会（年3回、第1回は本ニュースに案内掲載）、第31回放射線利用総合シンポジウム（2023年1月16日に開催予定）や施設見学会を開催し、情報交換を行うと共に、相互交流を図ります。また ONSA ホームページ、ONSA ニュースと電子版を活用して、情報を提供します。

[ONSA 会議室の活用] ONSA の活動目的に沿った会員の企画によるミニ研究会（出席者10人前後、Online 開催も可能）やミーティングをサポートします。ご希望があればご相談ください。

2. 委託業務、調査・研究などの受け入れ

行政機関、公設研究機関、民間などから登録機関等としての業務、調査や研究を受託しています。①大阪公立大学からは、ガンマ線照射の受付等業務を受託しています。また、②ガンマ線の超精密な吸収測定を依頼先からの試料で測定した実績、③エックス線装置の輸出する際のコム等の手続きの解説・指導等の実績があります。進行中の案件では、④ベータ線の超精密な吸収測定の測定を依頼されています。今後ともこれらの測定業務の引き合いを幅広く依頼頂きます様にお願い致します。

3. 放射線関係団体、行政との連携活動

全国の団体との連携、実行委員としての活動を行います。

4. 放射線利用に関する優れた研究・活動の顕彰と支援

放射線や放射性同位元素等に関わる優れた研究・活動の奨励のために ONSA 賞を贈り、今後の活動を応援します。広く企業、学校、研究機関などにおいて、関係する研究、産業における利用の促進や普及、または人材育成での優れた業績を対象としていますので、多くのご応募をお願いします。

5. 技術相談

放射線計測等の実施、放射線利用機関の紹介や、放射線被ばくなどの相談を受けています。

6. その他の活動

一例として、大阪府立大学で開発された便利で高性能なペルチェ冷却型霧箱を受託販売しています。